

5 基本計画(見直し案)

1) 基本計画設計条件(敷地)

- ◆ 計画地 西東京市泉町三丁目 2174-1、2175 - 3、2176 - 7

◆ 敷地面積

建築敷地(東側)	1,786.07 m ²
道路状敷地	35.23 m ²
西側駐車場敷地	1,407.90 m ²
敷地面積合計	3,229.25 m ²

◆ 用途地域

建築敷地(東側)	第一種住専 527.74 m ² 、第二種住専 439.05 m ² 、準住居地域 819.27 m ²
道路状敷地	第一種住専 35.23 m ²
西側駐車場敷地	第一種住専 1,402.62 m ² 、第二種住専 5.28 m ²

◆ 防火地域

なし(第一種住専)、準防火地域(第二種住専、準住居地域)

◆ 許容建ぺい率

建築敷地(東側)	165.54%	西側駐車場敷地	50.07%
----------	---------	---------	--------

2) 基本計画設計条件(建築)

◆ 骨格構造材の見直しによるコストダウン

工事費に修正設計費を加えた額 総合計画の工事費(総事業費 603 百万円 - 工事監理 9 百万円 - 維持管理費 20 百万円 574 百万円)比 25%以内、実施設計の概算工事費(17 年 3 月作成 549 百万円)比 25%以内を目標とし、より縮減額の大きい数値を目標値と設定する。

目標値 412 百万円 工事費(402 百万円) + 修正設計費(10 百万円)

◆ 機能の見直しによるコストダウン

開館年度を 20 年度上半期と想定、20 年 4 月 1 日現在の清掃係在職予定者数 64 人から 21 年度予定者数 58 人に変更し 2 階部分の施設内容を見直す。

◆ 設備の見直しによるコストダウン

基本計画で示された家具展示スペース、スタッフコーナー及び、建物と一体施行によりコストが低減される太陽光発電、雨水貯留槽は基本計画に含み、風力発電、壁面緑化、生ごみ処理機についてはオプション設備とし、今後必要な時期に設置することで初期コストを抑える。

◆ 西側駐車場を含む土地利用計画の見直し

西側駐車場は清掃係職員の職場と駐車場が隣接することから縦列駐車にする事により来庁者駐車場 10 台程度・保谷庁舎リサイクル市で使用する約 400 m²程度と同等の面積を催事スペースとして確保する。

◆ 周囲の環境と調和のとれた景観の創出

完成予定の調布・保谷線、都道 233 号線から建物が容易に認識でき、こもれびホール、周囲の景観と調和のとれたデザインとする。

3) 基本計画設計条件(施設)

- ◆ 市民懇談会から提言された事業に新たな事業を付加することが想定されるため、基本計画では未確定分はフリースペースとする。

4) 主な施設概要と施設内容の比較表

(面積数値の少数点以下は四捨五入とした)

建物区分内訳面積	基本設計 (見直し前)	見直し案		備 考
		プラザ機能分	事務室機能分	
1階	943 m ²	460 m ²	469 m ²	
リサイクル家具 展示スペース	200 m ²	166 m ²		
多目的ルーム(1) 体験学習教室	75 m ²	209 m ²		事業案再構築のため フリースペースとする (設備内容は実施設計で 確定)
多目的ルーム(2) 体験学習教室	125 m ²			
情報連絡室	119 m ²			事務棟1階事務室内の 情報発信コーナーに機能 を替えて移設
ごみ減量推進課・ 環境保全課計画係 事務室	81 m ²		133 m ²	ごみ減量推進課、 環境保全課、市民 相談コーナー、情 報発信コーナーを 設置(区分、設備内 容は実施設計で確 定)
会議室			124 m ²	戦略・戦術の拠点
スタッフコーナー	41 m ²	46 m ²		資器材室、作業室 を含む
幼児コーナー	38 m ²			フリースペース内 で確保
トイレ、階段、廊下、エ レベーター等共用部分	264 m ²	39 m ²	212 m ²	倉庫を含む
2階	548 m ²		472 m ²	
ごみ減量推進課事務室	385 m ²		338 m ²	
事務用会議室	32 m ²			事務室機能分を1 階部分に移設
トイレ、階段、廊下、エ レベーター等共用部分	131 m ²		134 m ²	倉庫を含む
延床面積合計	1,491 m ²	460 m ²	941 m ²	プラザ機能分 460 m ² + 事務室機能分 941 m ² = 1,401 m ²

駐 車 場	身障者用 1 台 来庁舎用 5 台	身障者用 2 台	西側区域 来庁者用 9 台 清掃車等 27 台 事 務 用 9 台
-------	----------------------	----------	--

駐 輪 場	来庁舎用 27 台 職 員 用 16 台	来庁舎用 27 台	西側区域 職 員 用 16 台
-------	-------------------------	-----------	--------------------

建 設 費	5億 7,400 万円	4億 1,200 万円	見直し案には建築 費、付帯工事費、修 正設計費を含む
-------	-------------	-------------	----------------------------------

5) (仮称)西東京市リサイクルプラザ建設事業スケジュール(案)

2005/12/27

年 月 日	主 な 内 容	
17年5月10日	<p>全員協議会に見直しスケジュールを説明</p> <p>1. 見直しの基本的な考え方</p> <p>(1) 廃棄物処理経費の総コスト削減に向けた戦略・戦術拠点として運営されること。</p> <p>(2) 合併特例債の活用を前提とした施設であること。</p> <p>(3) リサイクルプラザの建設コスト、ランニングコストの縮減を図る。</p> <p>(4) ごみの減量化・資源化も含めた環境行政に貢献できる施設であること。</p> <p>(5) 見直しは一定の市民参加のもと進める。</p> <p>2. 見直しのスケジュール</p> <p>1年以内の見直しとする。</p>	
17年8月23日	リサイクルプラザ関係首脳部会議において「(仮称)リサイクルプラザ建設事業見直しに係る課題・問題点(中間)まとめ」の報告	
17年11月14日	リサイクルプラザ関係首脳部会議において「(仮称)リサイクルプラザ建設事業見直しに係る」方向性について、建設を前提に2つのケースに絞り、実現の可能性について具体的な調査を行うよう指示	
17年12月28日	理事者に「(仮称)リサイクルプラザ建設事業見直しに係る課題・問題点(最終)まとめ」の報告を行う	
今後の予定	18年2月15日 ~3月1日	パブリックコメントの実施、意見の取りまとめ
	18年3月	事業見直し案の決定
	18年4月	事業見直し案の公表、パブリックコメントの結果公表
	18年4月 ~10月	修正設計
	18年12月	(仮称)リサイクルプラザ建設工事起工 (仮称)リサイクルプラザ建設工事議案上程
	19年1月 ~(20年3月)	(仮称)リサイクルプラザ建設工事着工 ~(完成)
	20年度(上半期)	(仮称)西東京市リサイクルプラザ開館

6) 基本計画図

次ページへ